

## 引退前後の中高年世帯の貯蓄動向\*

臼杵政治<sup>†</sup>、北村智紀<sup>‡</sup>、中嶋邦夫<sup>§</sup>

### <要約>

本稿は厚生労働省の中高年者縦断調査を利用して、高齢者家計の貯蓄動向について分析した。純金融資産が正である高齢者家計は、貯蓄を取り崩す傾向があった。引退した家計ほど、取り崩す傾向が大きく、ライフサイクルモデルと整合的な結果であった。純金融資産が負である家計では、正規雇用では貯蓄を積み増す傾向があった。親族を介護する状態になると、一部で取り崩す傾向が大きくなる傾向、健康状態が悪化すると、一部で積み増しが大きくなる傾向が見られた。年金を受給すると、正規雇用の場合は貯蓄と取り崩す傾向があった。扶養する子供、パラサイトシングル、退職経験と純貯蓄との関連性は見られなかった。

キーワード：高齢者家計、貯蓄、パネルデータ

JELコード：D14、J26

---

\* 本研究は厚生労働科学研究費補助金より財政支援、厚生労働省よりデータの提供を受けている。深く感謝したい。

† 名古屋市立大学大学院経済学研究科

‡ ニッセイ基礎研究所 金融研究部、[kitamura@nli-research.co.jp](mailto:kitamura@nli-research.co.jp)

§ ニッセイ基礎研究所 保険研究部